



いまべつ

平成29年

12月号

641

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎0174(35)3012 FAX0174(35)2298
今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

東京都中野区で 今別荒馬が舞う



【東北復興大祭典なかの2017】

冬の交通安全運動 12月11日(月)～20日(水)

建設工事の安全を祈願して

10月25日、今別町開発センターにおいて今別町体育施設及び宿泊施設新築工事安全祈願祭が行われました。

式典には、関係者約65名が出席し建設に携わる設計業者、工事請負業者、中嶋町長らが鍬入れなどの儀式を行い、工事の安全を祈願しました。

工事は9月下旬から始まっており、来春の利用開始を目指します。



関係者ら約65名が出席し行われた安全祈願祭

今別町の沖合でサーモン養殖を目指して

10月27日、町役場において岡村恒一氏（オカムラ食品工業社長）と中嶋町長、野土一公氏（龍飛今別漁業協同組合長）らが今別町でのサーモン海面養殖事業について記者発表をしました。

オカムラ食品工業などでつくる日本サーモンファーム株式会社と龍飛今別漁協が試験養殖に着手し、深浦町の間養殖施設で約500～600グラムに育てた幼魚を沖合1キロに設置したいけすで養殖し、龍飛今別漁協が日本サーモンファームの支援を受けて、餌やり等の作業を行います。3.5キログラム前後の成魚にして平成30年5月から6月にかけて約30トンの出荷を目指します。

記者発表で中嶋町長は「課題だった育てる漁業が成功し、町の活性化に寄与することに期待したい」と話しました。

午後には、大型トラックで運び込まれた幼魚約1万5千匹が一旦防波堤に設置されたいけすに放流されました。



トラックからいけすへ



海面養殖事業について説明する中嶋町長(中)

間山春美さん県税功労者表彰を受賞

11月17日、ラ・プラス青い森において「平成29年度県税納税表彰式」が行われ、今別第五納税貯蓄組合長であり今別町納税貯蓄組合連合会長の間山春美さんが納税貯蓄組合等の指導及び納税意識の高揚に貢献したと評価され、県税功労者として、佐々木郁夫副知事から表彰状と記念品が贈呈されました。

間山さんは昭和40年の納税貯蓄組合設立当初より加入し、平成19年には今別第五納税貯蓄組合長に就任、その後、町連合会副会長を経て、平成24年から現職となりました。現在は後進の育成に注力しており、町納税貯蓄組合連合会に多大なる貢献をいただいております。



佐々木郁夫副知事から表彰される間山さん(左)

今別町遺族会 故・山内あき会長 日本遺族会会長賞受賞

10月14日にお亡くなりになられた山内あきさんは、今年9月に財団法人日本遺族会会長賞を受賞されました。

この賞は、長年遺族会の活動に貢献した方に贈られるもので、青森県から3名の方が受賞されました。

また、8月には青森県知事表彰も受賞されております。

いずれも療養中のため、代理の方が授与式に臨みましたが、山内会長の長年の御功績に対し敬意を表するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



故・山内あきさん

日赤分区長の委嘱状 が交付される

11月13日、町長室において新町長に就任した中嶋町長に日本赤十字社青森県支部、近藤事務局長より日本赤十字社今別町分区長としての委嘱状が交付され、赤十字会員（社員）増強、献血についての協力依頼がありました。



近藤事務局長(左)から委嘱状を交付される中嶋町長

今別の味を県内外でPR

東北復興大祭典なかの2017

10月28、29日東京都中野区の中野サンプラザ前をメイン会場に「東北復興大祭典なかの2017」が開催されました。

会場内の物産販売ブースでは東北6県の特産品等が多数並び、今別町からは『いまべつ牛販売促進連絡協議会、大川平加工グループ、北相産業(有)』が出店し、今別町の味をPRしました。

伝統芸能披露では『今別荒馬保存会(表紙)』が出演し、迫力ある演舞で来場者を魅了しました。



2017青森県市町村まつり

11月3日から5日にかけて、青森県観光物産館アスパムにおいて「青森県市町村まつり」が開催されました。

青森県内の優れた地場産品と豊富な観光資源を県内40市町村との連携により紹介し、各市町村選りすぐりの旬な商品が多数出品されました。

今別町からは大川平加工グループが出店し、かぼちゃ餅やがっばら餅等が大変人気で、完売していました。



第8回津軽海峡交流圏「大農林水産祭」

11月11日、12日に青森市の青森産業会館において第8回津軽海峡交流圏「大農林水産祭」が開催され、青森県と北海道道南地域の豊かな農林水産物や加工品、ご当地グルメの紹介・販売が行われました。

会場は多数の来場者で賑わい、各地域自慢の味を堪能できた一日となりました。



今別町軽トラ市

10月21日、11月19日に今別町ふれあい広場(ふれあい文庫となり)において軽トラックの荷台を店舗に見立てた「今別町軽トラ市」が開催されました。新鮮な農水産物等が多数並び、多くの来場者で賑わいました。

次回開催日は12月10日を予定しています。



食旅フェスタin仙台

11月18日、19日仙台市勾当台公園市民広場において「食旅フェスタin仙台」が開催され、グルメ王国・みなみ北海道と北東北から、伝統の名物をはじめ、行列ができる人気店等が多数出店しました。

いまべつ牛販売促進連絡協議会が出店し、バラ串、ハラミ串等を販売しブランド化を目指すいまべつ牛の味をPRしました。



思い出話に花を添えて

11月12日、ラブ・いまべつ会東京交流会が1年ぶりに東京都上野の「上野精養軒」で行われ、会員ら31名をはじめ、今別町から関係者10名、総勢41名が出席し盛大に開催されました。

会場では物販販売も行われ、もずくうどんをはじめ、塩ウニやとろろ昆布、ブランド化を目指している『いまべつ牛』など町を代表する特産品が多数並び、出席された多くの皆さんにお買い求めいただきました。

懇親会では、町役場税務担当者による「ふるさと納税」に関する説明や今別町四季の映像紹介、同町大泊出身の立花竜司さんによるサプライズ歌謡ショーが行われ大変盛り上がりしました。

今回の交流会は精養軒の伝統ある美味しい料理を囲みながら、久しぶりに会った友人らと楽しく話す方や、ふるさと今別町の活性化について話すなど有意義な時間を過ごし、楽しい交流会となりました。



参加者全員で記念撮影

ひがしくにのみや 立花竜司さん（大泊出身）が東久邇宮文化褒賞受賞を報告

今別町のみなさん、変わりありませんか。昭和39年（1964年）今別町大泊から、当時16才で東京に集団就職をしたのは東京オリンピックが開催された時代でした。就職先の小平市を通る聖火ランナーの一員として選出され、参加できたのも人生の中の忘れられない一頁でした。22年間勤務をした大企業を退職し、木村英喜（本名）から立花竜司と改名しキングレコードから「北海無法松」でデビューしてから25年を迎える事になります。当初から福祉活動に力を入れ、被災地等の訪問、チャリティーコンサート及び平成27年には「日米親睦サンフランシスコさくらまつり」のゲストとして日系の皆さんと歌を通しての交流に参加をさせていただきました。本年（平成29年）の5月、板東流家元・古典舞踊の振付師として有名な板東輝嗣王先生の推薦により、東久邇宮文化褒賞を受賞させていただきました。人と人との出会いに感謝をし、25年間、応援・支援をしていただいたファンの皆様、ありがとうございました。

11月12日、「ラブ・いまべつ会」の皆さんと上野精養軒（東京都台東区）で再会しました。会場から聞こえてくる津軽弁、懐かしく楽しいひと時でした。毎年、5月3日ゴールデンウィークには弘前城の野外ステージで歌っています。この時期は愛する故郷今別に立ち寄り、お墓参りと町内の老人ホームに行き、地元の先輩と会えるのを楽しみにしています。

これからも、故郷今別の宣伝に努め、一人でも多く今別のファンになってもらえるように頑張ります。皆様のご健勝とご発展を祈念致します。ありがとうございました。



受賞を報告した立花竜司さん

今別町・知内町・福島町がママさんバレー交流!!

11月12日、知内町スポーツセンターにおいて、知内町との「ママさんバレー交流」が行われました。交流試合には福島町も参加し、熱戦が繰り広げられました。大人がバレーを楽しんでいる間、一緒に集まったメンバーの子ども達もトランポリンをしたりゲーム機で遊び交流しました。お昼にはお弁当を食べながら久しぶりに会った仲間と談笑し、楽しい時間を過ごしました。

今別町バレーボールクラブの田中裕文会長から「来年になれば、新しい体育館ができています。宿泊も可能です!!」という話も交えながら、今別町の近況や魅力が伝えられました。知内町や福島町の皆さんも新しい体育館に期待をふくらませ、「来年今別町に行くのが楽しみです!!」と話し、来年の交流についての約束をしっかりとしてきました。



交流試合に出場したメンバーのみなさんと応援に駆け付けた子供達



今別町消防団長に 相内武光氏が任命される

小山内幸雄前団長の退任に伴い、新たに今別町消防団長に相内武光氏（二股）が任命されました。

任期は平成29年11月1日から平成32年3月31日までです。



相内武光氏

役場若手職員が様々なプロジェクト事業を実施

クリスマスリース&キラキラライト作り教室

11月5日（日）、荒馬の里活性化センターにおいて、役場若手プロジェクトチームCチームが主催する、親子を対象としたイベント「クリスマスリース&キラキラライト作り教室」が開催されました。講師としてカットチャートプロジェクト代表である高橋隆子先生を招き、親子でクリスマスリースとキラキラライトを制作しました。

子ども達は自由な発想で飾り付けをし、父母はそれを優しく見守りながら制作を手伝い、十人十色の作品が出来上がりました。制作後、参加者はカレーを食べながら作品の感想等意見交換をし、終始楽しい雰囲気でした。今回のイベントについて高橋先生は「みんな喧嘩することなく楽しく材料を分け合っていて、その中で多くの素晴らしい作品が出来上がり、チームワークがすごいと思った。子ども達の発想も多様で、「子ども達がここまでならできるかな」と思っていたが想像を遥かに越え、子ども達の独創性に富んだ感性に刺激を受けて、私自身もこれから成長していきたい。」と講評しました。また、イベント終了後参加者から、「ぜひまたこのようなイベントを開催してほしい」「子どもが喜んでいて、とても楽しかった」などの声も寄せられ、充実したイベントとなりました。



講師の先生に教えていただきながら作りました

定時町内放送再録音&今別町役場見学

11月20日（月）町役場において、小学校1～2年生7人を対象とした「定時町内放送再録音&役場内見学」が行われました。（役場若手プロジェクトBチーム主催）

町内放送の録音で児童の皆さんは、緊張しながらも大きな声でハキハキと原稿を読み、自分の声が町内に流れることにワクワクしている様子でした。役場内職場見学では、元気に挨拶しながら庁舎内の仕事の様子を見学し、役場職員と交流しました。

町長室での中嶋町長との懇談では、児童が「今別町をどんな町にしたいですか？」と質問し、中嶋町長は「皆さんのような子ども達の声がいっぱい聞こえる町にしたいです。」と答えました。最後に町長のイスに座って1人ずつ記念撮影をして、役場内は子ども達の笑い声で明るい雰囲気に包まれました。



とても緊張しました



中嶋町長と記念撮影

公民館リクエスト講座 ～上磯を歩いた太宰～

11月16日中央公民館において、地域の歴史にスポットをあてた町民歴史講座が開催されました。

今回は、「上磯を歩いた太宰」をテーマに牧野和香子氏（太宰治研究家）を講師として招き開催され、参加された皆さんは地域の歴史に関心を持ちながら、聞き入っていました。

この歴史講座は、今別町文化の調査、研究を行うとともに、その保護活動を図りながら郷土と文化保存思想の向上に資することを目的に「いまべつまちを語り継ぐ会」と連携して行っております。



講演する牧野和香子氏

数々の力作を展示

10月28日、第8回「公民館まつり」が中央公民館で開催されました。

会場では水墨画や塗り絵、編み物など各サークル・講座等の見事な作品に訪れた方々は見入っていました。

会場では今別こども園による伝統芸能「荒馬」やお遊戯が披露され賑やかで楽しいまつりとなりました。



今別こども園の園児による荒馬の披露

国民年金に関するお知らせ

国民年金保険料の「後納制度」について

過去5年以内に納め忘れた国民年金保険料を納付することで将来の年金額を増やすことができる「後納制度」が平成27年10月から平成30年9月までの3年間に限り実施されています。

後納制度を利用することで年金額を増やすことや、年金の受給ができなかった方が受給資格を得られることがあります。

従来、老齢年金を受け取るためには、保険料納付済期間と保険料免除期間などを合算した資格期間が原則として25年以上必要でしたが、平成29年8月からは、資格期間が10年以上あれば老齢年金を受け取ることができるようになりました。そのため、後納制度を利用し不足している保険料を納めることにより、年金の受給ができなかった方が受給資格を得られる可能性があります。

ただし、すでに老齢基礎年金を受給している方などは、後納制度の利用はできません。

後納制度を利用するには、申込が必要です。詳しくは下記までお問合せください。

<問い合わせ先> 日本年金機構 青森年金事務所 お客様相談室 電話：017-734-7498
今別町役場 町民福祉課 国民年金係 電話：0174-35-3003

今別診療所からのお知らせ

無料肝炎ウイルス検査のお知らせです。

青森県では、肝炎の早期発見、早期治療のために、県が指定する医療機関で平成30年3月31日まで、無料でB型及びC型肝炎ウイルス検査を実施しています。

・対象となる方

青森県に住所を有し、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない方が対象となります。

・検査項目

B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査（血液検査）

※両方の項目、またはいずれかの項目のみを選んで検査を受けることができます。

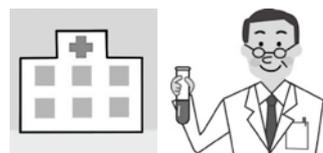
・検査の受け方

検査申込は、検査当日に医療機関の窓口へ備え付けてある申込書に必要事項を記入し、提出してください。（検査を希望される方は必ず事前に医療機関にお問い合わせください。）

検査結果は医療機関から検査結果通知書等によりお知らせいたします。

※今別町周辺の検査を受けられる医療機関は、外ヶ浜中央病院、蓬田診療所、今別診療所となります。

ご不明な点があれば今別診療所スタッフまでお問い合わせ下さい。【問い合わせ先 0174-35-2680】



◇休診等のお知らせ◇

12月4日（月）午後休診

12月8日（金）午後休診

12月14日（木）午後訪問診療

12月21日（木）午後訪問診療

12月27日（水）午後休診

12月28日（木）代診・午後休診

※12月29日から1月3日は年末年始休診

※訪問診療の際は、午後の診察時間が3時頃になります。

※27日は受付が11時までです。

※28日は県病の先生による代診です。

※休診日等は、変更になる場合がありますので、お薬を飲み終える前に余裕を持っておいでください。

母子・父子・寡婦福祉資金の貸付予約の受付

青森県では、母子家庭などのお子さんが、修学・修業などの際に必要な資金の貸付予約の申込みを受付しています。貸付の限度額や償還方法、償還期間などの詳細については、東地方福祉事務所までお問い合わせください。

予約申込期間 平成29年11月1日～平成30年3月31日（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）

対象者 来春、お子さんが小・中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、各種学校へ進学する母子・父子・寡婦家庭の方（小・中学校の就学支度資金は所得税非課税の場合のみ）
※なお、現在修学中の方の修学資金の申込みは、随時受付しています。
※平成26年10月から、父子家庭の方も貸付の対象となりました。

申請・問合せ 東青地域県民局 地域健康福祉部 福祉総室（東地方福祉事務所）（017-734-9950）

【参加してみませんか？国税庁の公売】

公売とは、国税局又は税務署が差し押さえた財産を滞納国税に充てるため、広く不特定多数の買受希望者を募り、売却することをいいます。

公売は、原則としてどなたでも参加でき、全国の国税局や税務署の公売会場で行うほか、自宅のパソコンやスマートフォンなどから入札できる「インターネット公売」も実施しています。

公売財産や公売予定日、手続き等の詳細については、「公売情報ホームページ（www.koubai.nta.go.jp）」をご覧ください。

○確定申告書作成会場のお知らせ

青森税務署では、所得税等、消費税等及び贈与税の確定申告書を作成していただくために、申告書作成会場を開設します。

開設期間 平成30年2月16日（金）～3月15日（木）（土、日を除く）

※ただし、2月18日及び2月25日の日曜日は開設します。

※開設期間前は、申告書作成会場を設置しておりません。少ない職員での対応となり長時間お待ちいただく場合がございます。

2月16日以降の来場にご理解とご協力をお願いいたします。

※駐車場は大変混み合いますので、公共交通機関等をご利用ください。

受付時間 午前9時から午後4時まで（提出は午後5時まで）

開設時間 午前9時から午後5時まで

※申告書作成会場の混雑状況によっては、早めに相談受付を終了する場合がありますのでご了承願います。

問い合わせ先 青森税務署（017-776-4241）※音声案内に従い番号を選択してください。

○医療費控除の特例（セルフメディケーション税制）

平成29年1月1日から平成33年12月31日までの間に申告者又は申告者と生計を一にする配偶者その他の親族の特定一般用医薬品等購入費を支払った場合で、申告者が一定の取組を行っているときは、従来の医療費控除に代えて、申告者の選択により、その年中に支払った特定一般用医薬品等購入費の金額の合計額が1万2千円を超えるときは、その超える部分の金額（8万8千円を限度）を医療費控除として総所得金額等から控除できます。

※「特定一般用医薬品等購入費」とは、医師によって処方される医薬品（医療用医薬品）から薬局などで購入できる医薬品に転用された医薬品（スイッチOTC医薬品）の購入費をいいます。

※「一定の取組」とは、①健康診査、②予防接種、③定期健康診断、④特定健康診査、⑤がん検診をいいます。

※医療費控除の特例（セルフメディケーション税制）を受けることを選択した方は、従来の医療費控除を受けることはできません。

◎医療費控除の計算方法

その年中に支払った特定
一般用医薬品等購入費

— 保険金などで
補填される金額

— 12,000円 =

セルフメディケーション税制に係る
医療費控除（最高8万8千円）

問い合わせ先 青森税務署（017-776-4241）※音声案内に従い番号を選択してください。

自動車税の納付確認の電子化について

平成27年4月1日から、登録自動車については、国の継続検査窓口での自動車税の納税証明書の提示を省略できるようになりました。

詳しくは、県庁HP【http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/jidosya_denshika.html】をご覧ください。

！ご注意ください！

～以下に該当する方は、納税証明書の提示が必要です～

軽自動車、小型二輪自動車の継続検査を受検される方、自動車税を納付後、すぐに継続検査を受検される方

【問い合わせ先】

青森市新町二丁目4-30 東青地域県民局県税部納税管理課 県庁舎北棟1階

電話 017-734-9970 017-734-9971

「奥津軽いまべつ駅⇄津軽中里駅間バス」 運賃半額助成のお知らせ（その2）

奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バス運行協議会では、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅から津軽中里駅を結ぶ2次交通「いまべつ線」の利用促進のため、3月31日まで五所川原市、中泊町、津軽鉄道（株）等が開催するイベント等に参加される方に、バス運賃の半額助成券を交付していますので、ご利用ください。割引券の取扱所は次のとおりです。

【取扱所等】

- 今別町役場企画課 35-3012
取扱時間 8:15から17:00
- 道の駅いまべつ半島プラザアスクル 31-5200
取扱時間 9:00から18:00

【主なイベント情報（更新） 平成30年3月まで（予定）】

- 五所川原市
 - ◆「津軽まつり」～雪と光のページェント～
2月5日（月）から12日（月）（芦野公園）
 - ◆イルミネーション点灯 5日（月）から12日（月）
17:00～20:00
 - ◆雪像づくり 9日（金）・10日（土）
9:00～16:00
 - ◆限定イベント 11日（日） 14:30～18:15

- 中泊町 1月27日（土）※予定
 - ◆なかどまり冬まつり
（中泊町特産販売所 ピュア） 9:00～14:00
3月25日（日）※予定

- ◆おらほの鍋グランプリ
10:00～14:00（津軽中里駅 駅ナカ内）
（新幹線開業2周年記念）

- ◆津軽伝統「金多豆蔵人形芝居」公演
12月から3月（第一土曜日）
午前の部10:30 午後の部13:00（津軽中里駅内）

●津軽鉄道株式会社

- ◆ストーブ列車運行12月1日（金）から3月31日（土）
※12月中は土・日・祝のみストーブ列車連結
※12月30日から3月31日までは毎日ストーブ列車連結

- ◆2月5日（月）～12日（月）※予定
イルミネーション列車運行
（「雪と光のページェント」にあわせて列車運行）

※バス時刻表、津軽鉄道時刻表を確認して、イベント等にご参加下さい。

※その他、各種イベントが開催される際に、半額助成が可能となっておりますので、お気軽にお問い合わせください。



【運賃（半額助成後）】片道 大人 600円 小人 300円
（津軽いまべつ駅前⇄津軽中里駅の場合）

【バスの時間が12月1日から変わります】

津軽中里駅行

奥津軽いまべつ駅行

奥津軽いまべつ駅前発	津軽中里駅前着	津軽中里駅前発	奥津軽いまべつ駅着
10:50	11:55	8:45	9:50
14:00	15:05	12:10	13:15
15:50	16:50	14:10	15:15
19:40	20:45	17:35	18:40

【津軽鉄道列車時刻表（バス接続）】

（◎がストーブ列車）

津軽中里駅発	◎12:55	14:42	◎15:21
芦野公園駅	◎13:09	14:35	◎15:33
金木駅	◎13:12	14:37	◎15:36
津軽五所川原駅着	◎13:42	15:01	◎16:05

津軽五所川原駅着	◎14:10	15:15	16:52
金木駅	◎14:36	15:35	17:13
芦野公園駅	◎14:44	15:40	17:19
津軽中里駅発	◎14:58	15:51	17:30

【お問い合わせ】

今別町役場企画課 電話 0174-35-3012



No. 2

飛脚便で江戸へ送られる錦石

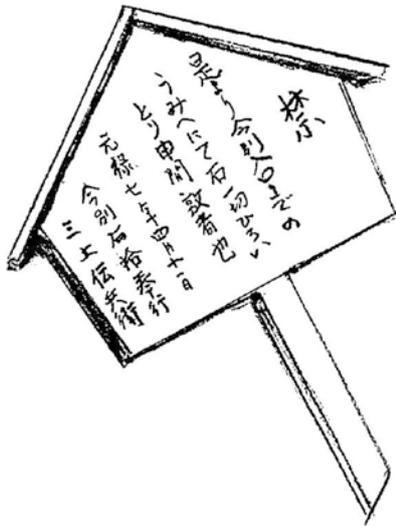
天明5年(1785)に津軽、南部、蝦夷を旅行した菅江真澄の「遊覧記」には、「通辞貫廻波末(錦の浜)」と言っているが、錦石とは言っていない。

同じころ、東北を来遊した橘南谿は「錦の浜」を「瑪瑙の浜」と言い、また橘南谿は今別石を津軽石とも宝石とも言って、京都で縮締として使用していると記されている。



▼加工された今別産の錦石
(牧野喜美雄さん提供)

▼舍利石母岩
(牧野喜美雄さん提供)



▲今別石の採取を禁じた禁札

川から産する瑪瑙を原料として作られ、この瑪瑙が加工されカンザシや縮締となり江戸、京都、大阪へ送られ、愛玩されていた。津軽玉は各地で評判良く藩への贈答品として贈られ、需要が増したが原石が土淵川のみであったので不足し需要に応じられなかった。そこで、今別石がそれに匹敵する優良な物で



与茂内海岸から今別海岸のあたりで錦石が出ていた。昭和32年から35年ごろが最盛期

年) 霰月の舍利石と共に贈られ需要が非常に多かった。そのころ、龍飛崎に派遣されていた遠見番が6人から4人に減員されることになった。しかし、減員しないで非番の2人を石拾いに回すと言う上申書も出されるほどの人気で、江戸へも飛脚便で今別石が送られ評判になった。そこで、藩ではこの浜の石を一切拾ってはならないという禁札を立てて今別石の採取を禁じた。

【用語解説】

あったので、信政公は今別石の採取を命じた。初めて藩に贈られたのは延宝4年(1676)12月1日で秋元六左衛門が命ぜられ、大小20個が納められた。

津軽藩 今別石採取を 禁止

延宝から元禄にかけて(1681年~1702

- ▽通辞(つうじ) 江戸時代における通訳官。
- ▽縮締(おじめ) 袋物の縮を束ねて通し、口を締めるための穴のあいた玉。
- ▽飛脚 手紙・金銭・小荷物などの送達にあたった者。
- ▽舍利石 釈迦の骨(仏舍利)の代わりとして「仏塔」として収められたもの。

イ マ ダ ス

町の行事予定 (12月1日～1月15日)
※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

12月	
10日(日)	奥津軽いまべつ駅おもてなしイベント第5弾「KUMIKO KAHLO(クミコカーロ)」弾き語りクリスマスコンサート 【企画課】 軽トラ市 【今別町産業再生協議会】
11日(月)	冬の交通安全運動～20日(水) 【総務課】
22日(金)	今別小・中学校二学期終業式 第4回キクの会と第1回高齢者世帯の集い(開発センター) 【社会福祉協議会】
25日(月)	町・県民税第3期納期限 【税務】 国民健康保険税第5期納期限 【税務】 介護保険料第5期納期限 【町民福祉課】
1月	
12日(金)	平成29年度今別町褒賞授与式・平成30年今別町新年会(開発センター) 【総務課】
15日(月)	今別小・中学校三学期始業式

海峡の家ほろづき 温泉の目のお知らせ

入浴の日

- 温泉の日は毎月水・土曜日です。(12月は6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日です。)
- 入浴料は幼児無料、小中学生150円、高校生以上300円です。
- 入浴時間は正午から午後5時までです。

老人の日(無料)

- 毎月第3木曜日(祝日の場合は前日)は老人の日です。
- 対象年齢は65歳以上です。(年齢確認できるものの提示をお願いします)
- 入浴時間は午前10時から午後2時までです。



※各団体等の使用は予約により随時受け付けします。

【問合せ先】 海峡の家ほろづき 電話：0174-36-2166
今別町役場企画課 電話：0174-35-3012

町の元気な子ども達

①氏名 ②地区名 ③将来の夢

「今別小学校6年生」

テーマ「学習発表会」

たりにた予てはとも
での頑の行、やてい私10
ず言張で練大りもつは目
。葉り、習きま難き622
『ま本はくしり年日
まし番恥演たいや生、学
でたてず技。てる最習
や。はかし目す事後発
り本ししよ標。この発
き番つくうは練し学表
るはかて！「習ま習会
事、り下」下かし発が
が前前をとをらた表あり
でをを向決向一。会りな
き見向いめかつ劇なま
ててけてますーはのしだ
良「るしし前つ演でた。
か終よまたを丁技、
つわつ。見學がお



③ パティシエ
② 三 廐
① 舘田七海

今別町ふれあい福祉センター 12月の相談日のご案内

一般相談 日常のあらゆる心配ごとと悩みごと・・・など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談	12月13日(水) 27日(水)	10:00 ～11:30	生活一般相談員
電話相談	毎週月曜日 ～金曜日	10:00 ～17:00	社協職員

※土、日及び祝祭日は対応できませんのでよろしくをお願いします。

専門相談 専門相談員による相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
法律相談	借金、離婚、財産相続、土地登記に関する相談	12月12日(火)	13:30 ～15:30	司法書士

※相談を予定している方は、事前に予約をお願いします。当日の来所は電話でお知らせ願います。また、今月の専門相談は法律相談のみです。

※相談会場は開発センターです。

【問合せ先】 社会福祉法人 今別町社会福祉協議会
電話：35-3081

戸籍の窓口 (10月1日から10月31日までの届出分) ※ご家族から承を得た方になります。

お誕生おめでとうございます

鶴谷 洸太くん(拓馬)今別 相内 壮介くん(峻)二股

お悔やみ申し上げます

佐々木信一さん(92) 夔 月
平 勝美さん(90) 大川 平
飯田 達雄さん(61) 浜 名
中島 石雄さん(82) 大 泊
平野 ひでさん(91) 今 別
工藤 梅さん(81) 今 別
佐々木妙子さん(85) 関 口
山内 あきさん(85) 今 別

今別の姿

(平成29年10月31日現在)
面積 125.27km²
人口 2,773人(-12)
男 1,326人(-4)
女 1,447人(-8)
世帯数 1,467 (-3)
()内は前月比

編集後記

みなさんこんにちは。今別にも厳しい冬がやってきましたね。今年も残すところ1カ月を切りました。みなさんにとってはどうな1年でしたか。さて、5月号から広報を担当させていただき今月号でも目とりました。改めて作成の難しさを感じておられます。来年はもっと読みやすい広報をお届けできるように頑張りますのでよろしくお祈りします。それでは、お身体に気を付けて、よいお年をお迎えください。来年もよろしくお祈ります。(広報担当) 神